

●英語コミュニケーションⅡ (P19)	1
●英語コミュニケーションⅡ (Lc)	2
●英語コミュニケーションⅡ (Ed)	3
●英語コミュニケーションⅡ (Le)	4
●英語コミュニケーションⅡ (Fc)	5
●英語コミュニケーションⅡ (Ef)	6
●英語コミュニケーションⅡ (Eh)	7
●英語コミュニケーションⅡ (Eb)	8
●英語コミュニケーションⅡ (Lf)	9
●英語コミュニケーションⅡ (Lb)	10
●英語コミュニケーションⅡ (Kb)	11
●英語コミュニケーションⅡ (Td)	12
●英語コミュニケーションⅡ (Tg)	13
●英語コミュニケーションⅡ (Tf)	14
●英語コミュニケーションⅡ (M15)	15
●英語コミュニケーションⅡ (Kd)	16
●英語コミュニケーションⅡ (M12)	17
●英語コミュニケーションⅡ (Ti)	18
●英語コミュニケーションⅡ (Te)	19
●英語コミュニケーションⅡ (La)	20
●英語コミュニケーションⅡ (Ec)	21
●英語コミュニケーションⅡ (P18)	22
●英語コミュニケーションⅡ (Fb)	23
●英語コミュニケーションⅡ (Ee)	24
●英語コミュニケーションⅡ (Fa)	25
●英語コミュニケーションⅡ (Ea)	26
●英語コミュニケーションⅡ (Eg)	27
●英語コミュニケーションⅡ (Ld)	28
●英語コミュニケーションⅡ (Ka)	29
●英語コミュニケーションⅡ (Tb)	30
●英語コミュニケーションⅡ (Th)	31
●英語コミュニケーションⅡ (M11)	32
●英語コミュニケーションⅡ (M13)	33
●英語コミュニケーションⅡ (Kc)	34
●英語コミュニケーションⅡ (D16・17)	35
●英語コミュニケーションⅡ (Ta)	36
●英語コミュニケーションⅡ (Tj)	37
●英語コミュニケーションⅡ (Tc)	38
●英語コミュニケーションⅡ (M14)	39

2010年度 前期	曜日・校時 月3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003001 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (P19) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) P19	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 真弓 / nishihara@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / / 月曜日昼休み 長崎大学 非常勤講師室にて			
担当教員	西原 真弓		
<p><b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b></p> <p><b>ねらい:</b>英語の4技能すべてを駆使し、英語でコミュニケーションを図れるようにすることがねらいである。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>医療に関わる内容の英語の読み物を読むだけでなく、ビデオやCDを使い、必要な音声情報の聞き取りの練習も行う。</p> <p><b>到達目標:</b>テキストをベースに、bottom-up, top-down プロセスの両面を活性化させながら、リーディングやリスニング力を向上させる。また、発音指導と結びつけ、音変化なども理解しながら、リスニング力向上をめざす。さらに、医療に関する読み物を読むだけでなく、得た情報を自分の言葉で発信できるようにライティングやスピーキングの練習をする。</p> <p><b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>授業では、ビデオ教材、CDを使った音声教材、そして、テキストを利用する。健康や医療に関わる話題に関して、4技能を結びつけた活動を行う。リスニング力を向上させるために必要なスキルを身につけてもらうため、様々なリスニング練習を実践してもらう。その上で、自分の言葉を使って、英語で表現できるように練習を行う。</p> <p>第1回 Stress and Anxiety 第2回 Stress and Anxiety 第3回 Vitamins and Supplements 第4回 Vitamins and Supplements 第5回 Alzheimer's 第6回 Music Therapy 第7回 Laughter as Medicine 第8回 Robotic Surgery 第9回 Safe Anesthetics 第10回 Physical Therapy 第11回 Cosmetic Surgery 第12回 Vaccine Availability 第13回 Safe Blood and AIDS Prevention 第14回 The Visible Human Project 第15回 まとめ 第16回目 8月9日 定期試験</p>			
<b>キーワード</b>			
<b>教科書・教材・参考書</b>	ジョン・S・ランドー著 『ビデオレポート：健康と医療』 朝日出版社		
<b>成績評価の方法・基準等</b>	定期試験 80点、 授業外課題 10点、 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点		
<b>受講要件(履修条件)</b>			
<b>本科目の位置づけ/学習・教育目標</b>			
<b>備考(準備学習等)</b>			

2010年度 前期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003002 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Lc) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Lc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 <b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
第1回 4月5日 オリエンテーション 第2回 4月12日 英語のリズム(1), 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第3回 4月19日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第4回 4月26日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1), 速読(phrase reading) 第5回 5月10日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2), 速読(phrase reading) 第6回 5月17日 弱く発音される音, 速読(phrase reading) 第7回 5月24日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1), 映画による聞き取り(1) 第8回 6月7日 聞こえなくなる音, 映画による聞き取り(2) 第9回 6月14日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2), 映画による聞き取り(3) 第10回 6月21日 グループによるディスカッション(1), 映画による聞き取り(4) 第11回 6月28日 ひとつになる音, インフォメーションギャップによるペアワーク(3), 速読(phrase reading) 第12回 7月5日 つながる音, 映画による聞き取り(5), 速読(phrase reading) 第13回 7月12日 なくなる音, 速読(phrase reading), 映画による聞き取り(6) 第14回 7月26日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として), グループによるディスカッション(2) 第15回 8月2日 Review			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。		

2010年度 前期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003003 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ed) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Ed	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. 授業方法(学習指導法):During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. 到達目標:Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.  第1回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第2回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第3回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第4回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第5回 5: My City - Directions Part 1 第6回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第7回 7: Music - Adventures - Time 第8回 8: Mid Semester Review Activities 第9回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第10回 10: Free time - Sports - Going out 第11回 11: Eating out - Restaurants 第12回 12: Shopping - Fashion 第13回 13: Personality - Describing People - Dating 第14回 14: Holidays - Dates - Festivals 第15回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 第16回 : Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 前期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003004 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Le) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 103	
対象学生(クラス等) Le	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ウィリアム コリンズ / william@net.nagasaki-u.ac.jp / 大学教育機能開発センター 2階 / 819-2083 / 月:4時以降 火:12時~2時まで 水:2時以降 木:4時以降			
担当教員	ウィリアム コリンズ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>このクラスでは英語コミュニケーションⅠより Discussion と"Critical Thinking"(批判的思考)を重視します。英語コミュニケーションⅠと同様にスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングを練習しますが特にスピーキングとリスニングを重視します。ねらいはスピーキングの流暢さ(fluency)とリスニング能力を高めることと、インターネットで色々なトピックについて英語で調べに親しむこと、そして単語力を高めることです。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>クラス中での会話練習以外にクラス外でもリスニングとスピーキングの練習をしてリスニングとスピーキング記録をつけます。リスニング記録は英語のホームページにアクセスし英語ニュースビデオや会話ビデオ、洋楽ビデオなどの listening materials を聞いて、問題を解いたり感想を書いたりします。スピーキング記録は学期中に授業時間内外に自分のスピーキング練習を録音します。授業を207号のコンピューター室で行う時にパートナーと会話を録音します。期末に学期中に録音した全ての会話(授業中録音)とスピーキングの練習(授業外の"self-study 自習")のサウンドファイルをまとめてスピーキング記録として提出します。期末試験はスピーキングが主ですから地道なスピーキング、リスニング練習をいつも心がけて下さい。また単語帳の作成、フリーリーディングやフリーライティング、インターネットサーチャクティビティとウェブカメラでの自分の会話ビデオ撮影も取り入れる予定です。</p> <p><b>到達目標:</b>The aims of this class are (1)To develop discussion &amp; critical thinking skills (2)To improve students' listening comprehension through online listening content (3) To develop students' ability to use the internet to research a variety of topics in English (4)To build vocabulary including spoken expressions, root words &amp; collocations.</p>			
授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 Introduction/Free-Speaking Board-Game Activity (Speaking & Vocabulary) 第2回 Say it With Pictures Cartoon Activity (Speaking Activity); Interview Activity #1 第3回 (IN COMPUTER ROOM) Homepage & Speaking/Listening Record/Intro 第4回 Topic: Cultural Norms and Stereotypes (Brainstorming/Speaking) + Music Video + TOEIC Brush-Up 第5回 Debate Activity #1/Internet Search 説明 (Listening/Vocabulary/Grammar) Interview Activity #2 第6回 (IN COMPUTER ROOM) Discussion/Interview Day #1 (Listening & Speaking) 第7回 Who are your heroes group (Discussion) /Internet Search Activity + TOEIC Brush-Up 第8回 Debate Activity #2: Writing & Vocabulary Activity 第9回 Interview Activity #2 + Music Video + Free Writing 第10回 (IN COMPUTER ROOM) Discussion/Interview Day #1 (Listening & Speaking)/ Midterm Check 第11回 Dictation Activity (Listening for Information & Explaining reasons) + Free-Writing 第12回 Movie Scenes Role-Playing Activity (Listening, Speaking & Vocabulary) 第13回 Where to Study Abroad? (Group Discussion & Decision) + Vocabulary Activity 第14回 友達のビデオを見てフィードバックをあげる 第15回 Final Exam Review/Free-Writing, Free-Reading, Vocab Notebook Check 第16回 期末試験 Speaking Test: Storytelling & Active-Listening (IN COMPUTER ROOM)			
キーワード	Discusson; E-Learning		
教科書・教材・参考書	"English Communication for Self-Expression" Ogasawara, S. & Collins, W. + Graded Readers:"Martin Luther King" (教室で購入) マイクつきのヘッドフォン +フラッシュメモリ USB (2GB) (生協で購入)		
成績評価の方法・基準等	Speaking/Listening Record 35% Homework 20% Vocabulary Notebook 25% Final Exam: 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003006 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Fc) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Fc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ローン 悦子 / etsukolawn@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。			
担当教員	ローン 悦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。 授業方法(学習指導法):テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れ、補助教材も用いながら授業を進める予定です。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。 到達目標:授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)  テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めて行きます。テキストの内容は、比較的に学生生活に密着したテーマを中心とした親しみやすいものですので、受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の重要な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのため、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、プリントの補助教材も適宜使用していきます。  第1回 4月13日 オリエンテーション Introduction 第2回 4月20日 Getting to know each other 第3回 4月27日 Talking about Pastime 第4回 5月11日 Review 第5回 5月18日 Invitation and Appointment 第6回 5月25日 Making Small Talk 第7回 6月1日 Review 第8回 6月8日 Group work for the presentation 第9回 6月15日 Group work for the presentation 第10回 6月22日 Intensions 第11回 6月29日 Presentation 第12回 7月6日 Review 第13回 7月13日 Permission and Suggestion 第14回 7月20日 Comparative Cultures 第15回 7月27日 Review 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(40%)、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		

2010年度 前期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003005 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ef) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) Ef	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ペー シュウキー / / 非常勤講師室 / 095-819-2078(全学教育事務室) /			
担当教員	ペー シュウキー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to refresh students' memories of the grammar that they have already learned. Each class provides students with the the opportunity to learn words, phrases and dialogues that are related to the topic.  <b>授業方法(学習指導法):</b> Each class deals with an everyday topic. The activities are designed to help students telling their own ideas and experiences. Students will have the opportunity to interact and communicate with each other by completing tasks given in the class.  <b>到達目標:</b> By the end of the course, students should be able to use English for expressing their own ideas and feelings.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 第1回 4月13日 Getting to Know Each Other 第2回 第2回 This Is Me(1) 第3回 第3回 This Is Me(2) 第4回 第4回 Money(1) 第5回 第5回 Money(2) 第6回 第6回 Leisure Activities(1) 第7回 第7回 Leisure Activities(2) 第8回 第8回 Going Places(1) 第9回 第9回 Going Places(2) 第10回 第10回 Health(1) 第11回 第11回 Health(2) 第12回 第12回 Work(1) 第13回 第13回 Work(2) 第14回 第14回 Environment(1) 第15回 第15回 Environment(2) 第16回 8月3日 Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Printed materials will be distributed in the class.		
成績評価の方法・基準等	Participation 30% Homework 30% Final exam 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003008 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Eh) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Eh	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ローン 悦子 / etsukolawn@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。			
担当教員	ローン 悦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れ、補助教材も使いながら授業を進める予定です。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p><b>到達目標:</b>授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めて行きます。テキストの内容は、比較的に学生生活に密着したテーマを中心とした親しみやすいものですので、受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の重要な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのため、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、プリントの補助教材も適宜使用して行きます。</p>			
<p>第1回 4月13日 オリエンテーション Introduction  第2回 4月20日 Getting to know each other  第3回 4月27日 Talking about Pastime  第4回 5月11日 Review  第5回 5月18日 Invitation and Appointment  第6回 5月25日 Making Small Talk  第7回 6月1日 Review  第8回 6月8日 Group work for the presentation  第9回 6月15日 Group work for the presentation  第10回 6月22日 Intensions  第11回 6月29日 Presentation  第12回 7月6日 Review  第13回 7月13日 Permission and Suggestion  第14回 7月20日 Comparative Cultures  第15回 7月27日 Review  第16回 8月3日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(40%)、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		



2010年度 前期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003007 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Eb) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Eb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大坪 有実 / r_otsubo@hotmail.co.jp / 非常勤講師控室 / / 火曜日 12:00~12:50			
担当教員	大坪 有実		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語の4技能 読む・書く・聞く・話すのうち読む・聞くことに重点を置き、英字新聞で取り上げられている時事問題を理解し、要点を即差に把握できることを狙いとする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 主として講義によるが、グループ・ワークを一部に組み入れる。 <b>到達目標:</b> ・英字新聞のタイトルにおける文法構成を把握しており、正しい解釈ができる。 ・英字新聞の構成(ヘッドライン・リード・ボディー)がどれか理解できる。 ・ニュース記事と社説・論説の構造の違いを理解し、読み分けすることができる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 全体は大きく、前半と後半からなる。 授業の前半はリスニングを中心した授業で5W1Hをつかむ練習をする。 授業の後半はリーディングを中心とした授業で、既習文法を再確認しながら精読する。  第1回 4月13日 教科書販売 ・ Introduction ・ 英字新聞の読み方 第2回 4月20日 Doggie bags seen as way to cut down on food waste 第3回 4月27日 Blood types-do they shape a personality or are they mere stereotypes? 第4回 5月11日 "Metabolic monkeys" to get a fitness program 第5回 5月18日 40 years on, there's life left in this game? 第6回 5月25日 Disaster-management course emerges from Kobe quake rubble 第7回 6月1日 Convenience stores live up to their name, flourish 第8回 6月8日 Care workers struggling with kanji 第9回 6月15日 Teachers beset by unruly parents 第10回 6月22日 Oops! Flu equipment deemed unnecessary 第11回 6月29日 In sickness and in health - old dogs need care 第12回 7月6日 Residents pitch in to educate kids 第13回 7月13日 Obama is a fan of Spider-Man —and the feeling is mutual 第14回 7月20日 City takes lead in recycling rare metals 第15回 7月27日 Sustainable lifestyles gaining popularity as eco-villages take root 第16回 8月3日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Let's Browse Hot News! メディアの英語を楽しもう 三修社 ¥1,800+税		
成績評価の方法・基準等	定期試験 60点 授業中の課題に対する積極的な取組状況 10点 小テスト及び出席状況 30点		
受講要件(履修条件)	辞書を持参すること。 予習をして授業に参加すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003009 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Lf) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Lf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 水2 木3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習しておくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。 <b>到達目標:</b> テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。			
第1回 オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1 第2回 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2 第3回 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3 第4回 テキスト 場面編:基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4 第5回 テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5 第6回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6 第7回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7 第8回 テキスト 場面編:友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8 第9回 テキスト 場面編:授業情報を聞く 映画教材9 第10回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10 第11回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11 第12回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12 第13回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13 第14回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14 第15回 ESP関係の語彙修得練習 リスニング(ポストテスト) 第16回 定期試験(2010年8月4日)			
キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):英語リスニングテスト(JACET 中級) 1,000円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression・Life,Culture and Medicine-(EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材:プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、 ○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10% リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003010 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Lb) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Lb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. <b>授業方法(学習指導法):</b> During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. <b>到達目標:</b> Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.			
第 1 回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第 2 回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第 3 回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第 4 回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第 5 回 5: My City - Directions Part 1 第 6 回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第 7 回 7: Music - Adventures - Time 第 8 回 8: Mid Semester Review Activities 第 9 回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第 10 回 10: Free time - Sports - Going out 第 11 回 11: Eating out - Restaurants 第 12 回 12: Shopping - Fashion 第 13 回 13: Personality - Describing People - Dating 第 14 回 14: Holidays - Dates - Festivals 第 15 回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 第 16 回: Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 前期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003011 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Kb) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Kb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー マーク ティーダマン / / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	マーク ティーダマン		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The class will focus on improving students' basic English skills in listening, speaking and reading through listening experiences and production exercises in class and exercises and readings in English to be done as homework. <b>授業方法(学習指導法):</b> In class, we will focus on listening and speaking skills by going through the Touchstone 2 course book using video and extensive pair-work exercises. Work on English grammar and structure with a text preparing students for the Reading Section of the TOEIC Test will be assigned as home work. Homework assignments will be regularly checked and four quizzes over the material will be given. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students will be expected to have a firmer command of basic grammatical structures, be more adept at understanding TOEIC Test-type reading materials, and be more comfortable listening to, responding to, and producing everyday spoken English.			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Touchstone 2, Cambridge University Press  第1回 Introduction to the class, Mixing activity 第2回 TOEIC Unit 1; Touchstone Unit 1 第3回 TOEIC Unit 2; Touchstone Unit 1 第4回 TOEIC Unit 3,4; Touchstone Unit 1 第5回 TOEIC Unit 5, Quiz TOEIC Units 1-5; Touchstone Unit 2 第6回 TOEIC Unit 6; Touchstone Unit 2 第7回 TOEIC Unit 7,8; Touchstone Unit 3 第8回 TOEIC Unit 9,10; Touchstone Unit 3 第9回 TOEIC Unit 11, Quiz TOEIC Units 6-10; Touchstone Unit 4 第10回 TOEIC Unit 12,13; Touchstone Unit 4 第11回 TOEIC Unit 14,15; Touchstone Unit 5 第12回 TOEIC Unit 16, Quiz TOEIC Units 11-15; Touchstone Unit 5 第13回 TOEIC Unit 17,18; Touchstone Unit 6 第14回 TOEIC Unit 19,20; Touchstone Unit 6 第15回 TOEIC Quiz Units 16-20; Review of Touchstone for the test 第16回 Final Test			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	Homework 10%, TOEIC quizzes 30%, Final Test 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003012	●英語コミュニケーションⅡ (Td) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 125	
対象学生(クラス等) Td	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉村 宗司 / yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後 (16:00~16:10/125 教室)			
担当教員	吉村 宗司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語) - 必要最低限の英語(米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。 <b>授業方法(学習指導法):</b> まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL 機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 <b>到達目標:</b> 本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。 第1回 4月14日 オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか) 第2回 4月21日 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』一分析結果の報告と対策法について 第3回 4月28日 プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /r/と/l/の発音 第4回 5月12日 子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 第5回 5月19日 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック 第6回 5月26日 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 第7回 6月2日 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 第8回 6月9日 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン 第9回 6月16日 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①) 第10回 6月23日 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』 第11回 6月30日 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1) 第12回 7月7日 On an Airplane(2)/VTR 視聴/ニュースを聞き取る 第13回 7月14日 At an Airport(1)/洋楽を聞き取る 第14回 7月21日 At an Airport(2)/Taking a Taxi(1)/洋楽を聞き取る 第15回 7月28日 Taking a Taxi(2)/洋楽を聞き取る/まとめ 第16回 8月4日 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。			
キーワード	音法		
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況20%)等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水5	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003014	●英語コミュニケーションⅡ (Tg) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 125	
対象学生(クラス等) Tg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 吉村 宗司 / yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後 (16:00~16:10/125 教室)			
担当教員	吉村 宗司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b>			
<p><b>ねらい:</b>授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語) - 必要最低限の英語(米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL 機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。</p> <p><b>到達目標:</b>本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であつたことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。</p>			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>			
<p>前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。</p> <p>第1回 4月14日 オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか)</p> <p>第2回 4月21日 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』一分析結果の報告と対策法について</p> <p>第3回 4月28日 プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /r/と/l/の発音</p> <p>第4回 5月12日 子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説</p> <p>第5回 5月19日 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック</p> <p>第6回 5月26日 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化</p> <p>第7回 6月2日 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n/+t/と/n/+d/による音変化</p> <p>第8回 6月9日 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン</p> <p>第9回 6月16日 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①)</p> <p>第10回 6月23日 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』</p> <p>第11回 6月30日 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1)</p> <p>第12回 7月7日 On an Airplane(2)/VTR 視聴/ニュースを聞き取る</p> <p>第13回 7月14日 At an Airport(1)/洋楽を聞き取る</p> <p>第14回 7月21日 At an Airport(2)/Taking a Taxi(1)/洋楽を聞き取る</p> <p>第15回 7月28日 Taking a Taxi(2)/洋楽を聞き取る/まとめ</p> <p>第16回 8月4日 定期試験</p> <p>※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。</p>			
キーワード	音法		
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況 20%)等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 水5	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003013 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Tf) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Tf	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 中村 吏花 / arthur410@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 水曜昼休み			
担当教員	中村 吏花		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 主人公の日本人大学生とともにニューヨーク一人旅をバーチャル体験しながら、生き生きした英語表現をおぼえ、アメリカの生活文化を学ぶ。native speaker のナチュラルなスピードの英語に慣れる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 必ず予習をして授業に出席すること。問題の解答だけでなく、英文解釈や英文音読なども毎回無作為に指名して発表してもらう。テキスト付属の CD を活用して英語の音の特徴を確認するとともに、ディクテーションや音読など英語を読み・聞く訓練をする。授業中にそれぞれの問題のポイントと、内容を理解する。重要文法事項を解説する。 <b>到達目標:</b> コミュニケーションの基礎となる基本的な文法・構文・表現方法を習得し、英語を正しく理解することが出来る。英語の4技能を総合的に向上させる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 語句・表現・文法の解説をする。英語の音の特徴・リズムを知り、英文の構造に慣れるため、CD を活用してディクテーションや音読など英語を聞き・読む訓練をする。英語の語順を意識して、長文を読む。 授業には必ず予習をして臨み、辞書を持参してください。(電子辞書可。携帯電話は使用不可)。 始めは聞き取れなくても気にせず、とにかく何度も繰り返し CD を聞いてください。 あきらめずに続けていけばそのうち少しずつ英語の音に慣れていきます。頑張ってください。 内容がよくつかめなときは、何がわからないのかを明らかにさせてきてください。 文の構造がどうなっているのか、その文脈ではどういう意味でその単語が使われているのか、 代名詞が何を指しているか、など細かく確認していくと、わからないところがはっきりすると思います。 *教室に座っていれば出席というものではありません。予習をして授業に臨み(予習が十分にできていない場合は出席とはみなしません)、他の人の発表に耳を傾け、疑問があれば質問し、積極的に授業に取り組んで初めて出席とみなします。授業開始時刻から30分までは遅刻を認めます。それより遅い入室は欠席扱いとします。			
第1回 2010/4/14 Introduction 第2回 2010/4/21 機内 第3回 2010/4/28 到着 第4回 2010/5/12 ケイトと再会 第5回 2010/5/19 自由の女神 第6回 2010/5/26 メトロポリタン美術館 第7回 2010/6/2 レストラン 第8回 2010/6/9 Review 第9回 2010/6/16 ミュージカル 第10回 2010/6/23 体調不良 第11回 2010/6/30 スーパーでの買い物 第12回 2010/7/7 スポーツ観戦 第13回 2010/7/14 ワシントン DC 第14回 2010/7/21 ホテル 第15回 2010/7/28 Review			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	西蔭浩子『Let's Go Abroad!』(センゲージラーニング、2010年) 2100円 *必ずテキスト本体を入手して出席してください。テキストのない人の受講を認めません。		
成績評価の方法・基準等	定期試験 50%、小テスト 40%、積極的な授業への参加状況 10% (出席点はありません) *小テストの時に遅刻や欠席をして受けなかった場合は、その回の点数が0点となります。		
受講要件(履修条件)	3分の2以上の出席がなければ受験資格を失います。(入院・出席停止の伝染病等を除き、病欠も欠席扱いとします)。 正当な理由で欠席する場合は、その証明となる書類を提出してください(コピー可)。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003015 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (M15) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) M15	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 畠山 均 / hatakeyama@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 木曜日の授業の前後、非常勤講師室にて			
担当教員	畠山 均		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p>ねらい: Voice of America を素材として作成された教材を使い、主として listening、speaking、reading、の能力の向上を目的とする。特に音読の練習を重視し、英文を自然に読める能力を身に付ける。</p> <p>授業方法(学習指導法): 小テスト、テキストに従い listening、reading、音読(発音、イントネーション、リズム能力)向上のために演習。</p> <p>到達目標: まとまった内容の英文を自然な英語の発音でスムーズに読め、かつ暗唱できる。 まとまった内容の英文を細部までしっかりと内容を理解できるように聞き取りれる。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>テキストにしたがって英語での演習を行う。毎回、小テストまたは音読テストを行う。必ず予習をしてくる事。</p> <p>第1回 4月15日 Orientation 授業の目的、概要、成績評価の基準などの説明</p> <p>第2回 4月22日 Unit 1 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第3回 5月6日 Unit 2 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第4回 5月13日 Unit 3 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第5回 5月20日 Unit 4 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第6回 5月27日 Unit 5 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第7回 6月3日 Unit 6 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第8回 6月10日 Unit 7 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第9回 6月17日 Unit 8 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第10回 6月24日 Unit 9 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第11回 7月1日 Unit 10 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第12回 7月8日 Unit 11 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第13回 7月15日 Unit 12 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第14回 7月22日 Unit 13 小テスト、単語確認、内容確認、聞き取り練習、音読練習</p> <p>第15回 7月29日 暗唱テスト</p> <p>第16回 8月5日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	安波誠祐・Kathleen Brown (2006) The Global Topics of Health and Environment from VOA 健康と環境:身近なトピックから国際問題まで. 松柏社.		
成績評価の方法・基準等	<p>毎時間実施の小テスト— 40%</p> <p>暗唱テスト ————— 20%</p> <p>期末試験————— 40%</p>		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



2010年度 前期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003016 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Kd) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Kd	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村岡 三奈子 / muraoka@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 長崎純心大学村岡研究室にて随時			
担当教員	村岡 三奈子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 現代社会が抱える様々な問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。 <b>到達目標:</b> ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第1回 4月15日 インTRODクシヨン Definition and significance of debate 第2回 4月22日 Chapter 1 Format and procedures 第3回 5月6日 Chapter 2 Suggestions for classroom debate 第4回 5月13日 Chapter 3 Should college English education introduce debate in the curriculum? 第5回 5月20日 Chapter 4 Should the school dress code be left up to individual students? 第6回 5月27日 Chapter 5 Should Japan increase female leaders? 第7回 6月3日 Chapter 6 Should Japan adopt daylight saving time? 第8回 6月10日 Chapter 7 Should the civil code be revised to allow different surnames? 第9回 6月17日 Chapter 8 Should Japan seek permanent status on the U.N. Security Council? 第10回 6月24日 Chapter 9 Should the Japan-U.S. Security Treaty be abolished? 第11回 7月1日 Chapter 10 Should primary schools introduce English into their curriculum? 第12回 7月8日 プレゼンテーション準備 (1) Draft # 1 第13回 7月15日 プレゼンテーション準備 (2) Draft # 2 第14回 7月22日 プレゼンテーション 第15回 7月29日 授業の総括 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Enjoy Debating (EICHOSHA)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況: 10% 小テスト: 20% プレゼンテーション: 30% 筆記試験: 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 前期	曜日・校時 金1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003017 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (M12) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) M12	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、リスニング教材・リーディング教材として医学英語にふれる。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。医学的な話題を扱った英字新聞記事を速読する。 <b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。また、基礎的な医学英語に関わる語彙、表現を身につける。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 英語の獲得をスキルの獲得ととらえて、スキル獲得のための訓練を様々な手法を用いて行う。 第1回 オリエンテーション 第2回 4月16日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1)、医者と患者の会話(1) 第3回 4月23日 Voice Aerobics, 医者と患者の会話(2) 第4回 4月30日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、医者と患者の会話(3) 第5回 5月7日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、医者と患者の会話(4) 第6回 5月14日 弱く発音される音、医者と患者の会話(5) 第7回 5月21日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1)、 第8回 5月28日 聞こえなくなる音、医者と患者の会話(5)、速読(2) 第9回 6月4日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、医者と患者の会話(6) 第10回 6月11日 グループによるディスカッション(1)、速読(3) 第11回 6月18日 なくなる音、医者と患者の会話(7)、速読(4) 第12回 6月25日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3) 第13回 7月2日 つながる音、医者と患者の会話(8)、速読(5) 第14回 7月9日 医者と患者の会話(9)、速読(6) 第15回 7月16日 Review			
キーワード	医学英語、音変化、速読		
教科書・教材・参考書	Medical English Clinic、及びプリント教材。		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは医学英語表現を対象として毎回行う。また、まとめテストは、2回実施する。		
受講要件(履修条件)	毎回、復習を行うこと。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、学部教育への橋渡しとしての医学英語にふれる。基礎的な医学英語に関わる表現等を身につける。また、大学レベルの英語に必要なスキルを身につける。		
備考(準備学習等)	毎回実施される医学英語の小テストに備えた準備をすること。授業で紹介される聞き取りのこつ等を必ず復習すること。		

2010年度 前期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003018 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションII (Ti) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Ti	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. 授業方法(学習指導法):During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. 到達目標:Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む) The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.  第1回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第2回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第3回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第4回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第5回 5: My City - Directions Part 1 第6回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第7回 7: Music - Adventures - Time 第8回 8: Mid Semester Review Activities 第9回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第10回 10: Free time - Sports - Going out 第11回 11: Eating out - Restaurants 第12回 12: Shopping - Fashion 第13回 13: Personality - Describing People - Dating 第14回 14: Holidays - Dates - Festivals 第15回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 第16回 16: Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 前期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003019 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Te) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Te	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. <b>授業方法(学習指導法):</b> During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. <b>到達目標:</b> Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.			
第 1 回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第 2 回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第 3 回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第 4 回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第 5 回 5: My City - Directions Part 1 第 6 回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第 7 回 7: Music - Adventures - Time 第 8 回 8: Mid Semester Review Activities 第 9 回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第 10 回 10: Free time - Sports - Going out 第 11 回 11: Eating out - Restaurants 第 12 回 12: Shopping - Fashion 第 13 回 13: Personality - Describing People - Dating 第 14 回 14: Holidays - Dates - Festivals 第 15 回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 第 16 回 16: Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 後期	曜日・校時 月4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003020 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (La) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 301	
対象学生(クラス等) La	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 井石 哲也 / iseki@kwassui.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-822-4107(内線 257) / 活水女子大学井石研究室にて要確認			
担当教員	井石 哲也		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語読解力養成と聞き取り(イギリス英語の会話表現等)、イギリス文化理解 授業方法(学習指導法):使用テキストの英文(400語前後)を、構文を把握しながら精読し、正確に理解する。またイギリス英語の会話を理解できるように、聞き取りの能力を養成する。 到達目標:英語読解力の養成とともに、現代イギリスのさまざまな文化の諸相について理解することを目標とする。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回 受講上の注意、テキストの使用法(第1章をサンプルとして)と授業の進め方について説明を行う。第2回～第15回は各回のトピックに従って英文の読解と聞き取りの演習を行い、第16回目2月14日に定期試験を実施する。  第1回 10月4日 導入・テキスト Chapter 1: Animals:Fictional and Real 第2回 10月18日 Chapter 2: Exporting Sport 第3回 10月25日 Chapter 3: Literature:The Reading Boom 第4回 11月1日 Chapter 4: Eating Habits:Changing Tastes 第5回 11月8日 Chapter 5: Art:Attitudes and Anonymity 第6回 11月15日 Chapter 6: Population: Food for Thought 第7回 11月22日 Chapter 7: Antiques:Older is Often Better 第8回 11月29日 Chapter 8: Smoke-free Britain 第9回 12月6日 Chapter 9: Edinburgh:A City of Festivals 第10回 12月13日 Chapter 10: Television:Reflecting Our Lives 第11回 12月20日 Chapter 11: Structures of the Millennium 第12回 1月17日 Chapter 12: Leisure:Indoor and Outdoor 第13回 1月24日 Chapter 13: Education in the UK 第14回 1月31日 Chapter 14: Superstition and Beliefs 第15回 2月7日 Chapter 15: Pedal Power 第16回 2月14日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Anthony Allan, Tetsuya & Reiko Iseki, Insight into Britain (Kinseido, 2010)		
成績評価の方法・基準等	定期試験 70点、授業における発表と取り組み 30点の配点とする。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003021 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ec) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ec	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 川島 浩勝 / / 長崎外国語大学 3階 334 研究室 / 095-840-2000 (内線 334) / 授業終了後、質問を受けつける。 また、話し合いにより、後日、時間を設定する場合がある。			
担当教員	川島 浩勝		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 ねらい:英語によるコミュニケーションを円滑に行うのに必要とされる口語英語運用能力の基礎を作る。 授業方法(学習指導法):様々なタスクを用い、リスニングにフォーカスをあてた授業を行う。受講者が自己のリスニング能力を客観的に把握・理解できる場面が用意され、同時に、リスニングの学習法を学べるように授業が組み立てられている。 到達目標:本授業の到達目標は、1) 口語英語のスピード・イントネーション・リズムに対応できる、2) リスニングに対応できる語彙数を増やす、3) 英語のミニマルペアーの聞き分けができる、4) 英語のミニマルペアーを正しく発音できる、5) 英語の連続音を正しく理解し、聞き取ることができる、である。			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) 第1回:授業方針の説明・英語力診断テスト 第2回～第7回:90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 A: Extensive Listening 1 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 1) B: リスニングのための語彙力アップ (Level 1) C: コンテキストなしのミニマルペアーの識別・発音練習 D: 連続音の特徴の整理 第8回:授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト (1) 第9回～第14回:90分授業を大まかに下記の4つのパートに分け授業を行う。 E: Extensive Listening 2 (アメリカの家族生活を題材とした DVD: Level 2) F: リスニングのための語彙力アップ (Level 2) G: コンテキストありのミニマルペアーの識別・発音練習 H: 連続音の聞き取り・書き取り 第15回:授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト (2) 第16回:定期試験 (8月3日) 第1回 2010.4.13 授業方針の説明・英語力診断テスト 第2回 2010.4.20 上記の授業内容 (A-D) 第3回 2010.4.27 上記の授業内容 (A-D) 第4回 2010.5.11 上記の授業内容 (A-D) 第5回 2010.5.18 上記の授業内容 (A-D) 第6回 2010.5.25 上記の授業内容 (A-D) 第7回 2010.6.1 上記の授業内容 (A-D) 第8回 2010.6.8 授業内容 A)～D) のまとめ・リスニング力把握テスト (1) 第9回 2010.6.15 上記の授業内容 (E-H) 第10回 2010.6.22 上記の授業内容 (E-H) 第11回 2010.6.29 上記の授業内容 (E-H) 第12回 2010.7.6 上記の授業内容 (E-H) 第13回 2010.7.13 上記の授業内容 (E-H) 第14回 2010.7.20 上記の授業内容 (E-H) 第15回 2010.7.27 授業内容 E)～H) のまとめ・リスニング力把握テスト (2) 第16回 定期試験 (8月3日)			
キーワード	リスニング・語彙力・ミニマルペアー・連続音		
教科書・教材・参考書	基本的にはプリント教材を配布するが、第1回目の授業で実施する英語力診断テストの結果によっては、副教材を購入する場合がある。		
成績評価の方法・基準等	定期考査70%・小テスト10%・レポート20%とする。なお、欠席1回でマイナス7点(正当な理由がある場合は考慮する)となる等の「授業ルール」があるので注意すること。詳細は、第1回目の授業で配布する資料を参照すること。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003022 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (P18) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 228	
対象学生(クラス等) P18	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー RUHL DAWN MICHELE / michele@nagasaki-u.ac.jp / 大学教育機能開発センター 2F / +81(0)95-819-2082 / 月 - 金 12:00-12:45; 月・木 14:30-17:00			
担当教員	RUHL DAWN MICHELE		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>この授業では、英語の流暢さを向上させることを目的としています。Free Writing、Free Reading やアクティブ・リスニング、広範囲のリーディングをとり入れて何週間も続けていきます。生徒は、マインドマップの作り方と5W1Hや例を含めた Personal Stories の作り方を学びます。広範囲のリーディングを通して、生徒は多方面にわたるテーマに詳しくなり、また Personal Stories や引用文の中でこれらのテーマがわかるようになります。理論的な文章を書くことは、トピックや Personal Stories や広範囲のリーディング、また Free Writing、Free Speaking など主な学習範囲で使用した例と関連づけて実践していきます。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>毎週行う Free Writing やリーディング、クラスログ、マップ、クラスでの活動は用意された授業用ノートに保存をしていきます。アクティブ・リスニングを用いて、トピックや Stories を個別またはパートナーと録音します。2つのアクティブ・リスニングの文章を書き、それが採点されます。複数あるスピーキングの例からスピーキング・ポートフォリオをつくります。また、これは生徒同士で採点します。録音したものはすべてUSBに保存してください。学術的な文章を書く課題(2回)は、宿題となります。生徒の質問に答えたり、教員から例を挙げてもらったりする時間は十分にあります。授業は真面目に取り組み、毎週宿題をかかさずに行ってください。</p> <p><b>到達目標:</b>事前に書いた文章を読むのではなく、経験や詳細、例を挙げながら自分のことを話せるようになること。アクティブ・リスニング(相槌)の重要性を実感し、書かれた文章をアクティブ・リスニングで表現できる。理論的で複雑な文章を2つ書き上げる。英語を流暢に読み・書き・話す能力と速読力を向上させること。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 Purchase books; Class Outline, timetable and weekly Basic Homework (B.H.W.) 第2回 Interview Topics and Mind Mapping; Reading Benchmark. 第3回 Active Listening intro - Homepage; Topic Interviews (Answer 8 questions). 第4回 Record topics solo using maps & with a partner Active Listening(AL)&TPO 第5回 1st Speaking Fluency Check 第6回 Introduce Einstein Quotes and Paragraph writing;choose a quote. 第7回 Einstein Quote Solo; Introduce Homepage Stories & Speaking Portfolio options. 第8回 Midterm Check- Basic Homework&Narrative Essay 1. 第9回 Portfolio Choices and Practice Schedule must be finished in class today. 第10回 Midterm Speaking Fluency Check. 第11回 X-Factors with personal stories. 第12回 X-Factors with Speaking & AL 第13回 Record and check Personal Story Script with X-Factors. 第14回 Final Speaking Fluency Check. 第15回 Random Partner Portfolio Evaluations & Portfolio Self Evaluations. 第16回 Final Class Check- Basic Homework & Narrative Essay 2			
キーワード	extensive Flow mind map narrative portfolio timed		
教科書・教材・参考書	5 Books for Extensive Reading@¥3800 *マイク付ヘッドフォン、4GBのUSBフラッシュメモリー@¥2800 *カラーペン x5 と蛍光ペン x2		
成績評価の方法・基準等	Basic Homework 25% Speaking Portfolio 25% Active Listening 25% Paragraph Writing 25%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003025 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Fb) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Fb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ローン 悦子 / etsukolawn@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。			
担当教員	ローン 悦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れ、補助教材も用いながら授業を進める予定です。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p><b>到達目標:</b>授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。</p>			
<p><b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b></p> <p>テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めて行きます。テキストの内容は、比較的に学生生活に密着したテーマを中心とした親しみやすいものですので、受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の重要な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのため、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、プリントの補助教材も適宜使用して行きます。</p>			
<p>第1回 10月5日 オリエンテーション Introduction</p> <p>第2回 10月12日 Getting to know each other</p> <p>第3回 10月19日 Talking about Pastime</p> <p>第4回 10月26日 Review</p> <p>第5回 11月2日 Invitation and Appointment</p> <p>第6回 11月9日 Making Small Talk</p> <p>第7回 11月16日 Review</p> <p>第8回 11月30日 Group work for the presentation</p> <p>第9回 12月7日 Group work for the presentation</p> <p>第10回 12月14日 Intensions</p> <p>第11回 12月21日 Presentation</p> <p>第12回 1月11日 Review</p> <p>第13回 1月18日 Permission and Suggestion</p> <p>第14回 1月25日 Comparative Cultures</p> <p>第15回 2月1日 Review</p> <p>第16回 2月8日 定期試験</p>			
<b>キーワード</b>			
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(40%)、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		



2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003024 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ee) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 401	
対象学生(クラス等) Ee	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ベー シュウキョー / / 非常勤講師室 / 095-819-2078(全学教育事務室) /			
担当教員	ベー シュウキョー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to refresh students' memories of the grammar that they have already learned. Each class provides students with the opportunity to learn words, phrases and dialogues that are related to the topic. <b>授業方法(学習指導法):</b> Each class deals with an everyday topic. The activities are designed to help students telling their own ideas and experiences. Students will have the opportunity to interact and communicate with each other by completing tasks given in the class. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students should be able to use English for expressing their own ideas and feelings.			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 第1回 10月5日 Getting to Know Each Other 第2回 第2回 This Is Me(1) 第3回 第3回 This Is Me(2) 第4回 第4回 Money(1) 第5回 第5回 Money(2) 第6回 第6回 Leisure Activities(1) 第7回 第7回 Leisure Activities(2) 第8回 第8回 Going Places(1) 第9回 第9回 Going Places(2) 第10回 第10回 Health(1) 第11回 第11回 Health(2) 第12回 第12回 Work(1) 第13回 第13回 Work(2) 第14回 第14回 Environment(1) 第15回 第15回 Environment(2) 第16回 2月8日 Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Printed materials will be distributed in the class.		
成績評価の方法・基準等	Participation 30% Homework 30% Final exam 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003023 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Fa) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Fa	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松村 ラッタナー / mratana46@yahoo.com / 非常勤講師室 / 095-882-6656 / By appointment.			
担当教員	松村 ラッタナー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course aims to improve students' listening and speaking skills for everyday communication in English. Students will learn to use appropriate language functions and structures in different theme-based situations. Students will learn to give short presentations relating to the selected themes. <b>授業方法(学習指導法):</b> Students are expected to prepare for each lesson and fully participate in communication activities. Tasks will require students to work in pairs or in groups, and will progress from simply giving facts to expressing opinions. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students would be able to:- demonstrate their understanding of dialogues and monologues presenting the target functions within the range of the themes covered by completing required activities; express themselves by using correct language functions in different situations; give a short presentation concerning a theme covered in class.			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The scope of the course includes essential pronunciation and stress patterns, listening and speaking strategies, and the selected functions below. 第1回 10月 5日 Introduction / Basic communication strategies 第2回 10月12日 Unit 1 - Agreeing and disagreeing 第3回 10月19日 Structure drill / Exchanging information about vacations 第4回 10月26日 Introduction to presentation 第5回 11月 2日 Unit 2 - Giving opinions 第6回 11月 9日 Opinion survey / Board game 第7回 11月16日 Unit 3 - Talking about experiences 第8回 11月30日 Information gap completion / Personal information exchange 第9回 12月 7日 Midterm / Unit 4 - Describing places 第10回 12月14日 Information completion using a board game 第11回 12月21日 Unit 5 - Describing special events 第12回 1月11日 Structure drill / Personal information survey 第13回 1月18日 Unit 6 - Giving advice 第14回 1月25日 Exchanging advice / Information gap completion 第15回 2月 1日 Student presentation 第16回 2月 8日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Smart Choice Student Book 2A by Ken Wilson		
成績評価の方法・基準等	Participation and homework 30% Midterm exam 20% Student presentation 30% Final exam 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003027	●英語コミュニケーションⅡ (Ea) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 302	
対象学生(クラス等) Ea	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ローン 悦子 / etsukolawn@hotmail.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後、またはメールにて質問を受け付けます。			
担当教員	ローン 悦子		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>本授業では、実用的な英会話の表現を習得します。特にリスニングとスピーキングに力を入れながら基礎的な英語運用能力の向上を目指します。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>テキストに沿って演習形式で行います。ペアーワークやグループワークを多く取り入れ、補助教材も使いながら授業を進める予定です。英語圏の文化、習慣の違いにも触れていきます。</p> <p><b>到達目標:</b>授業を通して、英語コミュニケーション活動に慣れ親しみ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とします。英語話者と話す機会がある場合に、状況に合った丁寧、あるいはカジュアルな表現を使い分け、躊躇することなく会話できるようになることを目指します。</p>			
授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
<p>テキストは全12課から成っていますが、進度は詰め込み式にならないように、授業の進み具合で調節しながら進めて行きます。テキストの内容は、比較的に学生生活に密着したテーマを中心とした親しみやすいものですので、受講生には回答の機会をできる限り多く設け、ペアーワークやグループワークを通して学んだ表現の定着を図ります。テキスト中の重要な構文は、自然に口からついて出てくる程度にするために、付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい(特にスピーキングとリスニング力アップのため、各自音読、リピーティング、オーバーラッピング、シャドーイング、ディクテーション等の練習に力を入れて下さい)。DVDの視聴、プリントの補助教材も適宜使用して行きます。</p>			
<p>第1回 10月5日 オリエンテーション Introduction  第2回 10月12日 Getting to know each other  第3回 10月19日 Talking about Pastime  第4回 10月26日 Review  第5回 11月2日 Invitation and Appointment  第6回 11月9日 Making Small Talk  第7回 11月16日 Review  第8回 11月30日 Group work for the presentation  第9回 12月7日 Group work for the presentation  第10回 12月14日 Intensions  第11回 12月21日 Presentation  第12回 1月11日 Review  第13回 1月18日 Permission and Suggestion  第14回 1月25日 Comparative Cultures  第15回 2月1日 Review  第16回 2月8日 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書として Tadashi Shinozawa Gregory A. King 著 『New Activator』 金星堂 を使用します。第1回目の授業までに、必ず生協の販売コーナーで各自購入して下さい。		
成績評価の方法・基準等	期末試験(40%)、小テスト、課題、プレゼンテーション(50%)、積極的な授業への参加(10%)を総合的に判断します。		
受講要件(履修条件)	教科書、英語辞典(電子辞書も可)を、毎回持参、また毎回授業に出席すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	各自テキスト付属のCDを使用し予習、復習をして授業に臨んで下さい。		

2010年度 後期	曜日・校時 火4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003026 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Eg) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 205	
対象学生(クラス等) Eg	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 前川 智子 / t-mae@athena.ocn.ne.jp / 非常勤講師室 / / 授業の前後 10 分間			
担当教員	前川 智子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語を聞く・読む・書く・話すという総合的な英語コミュニケーション力を高め、最終的には人前でスピーチができるようになることがねらいである。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 読む前にエッセイを聞いて内容を理解するリスニング演習、冒頭部分のディクテーションを行う。次にそれを読み、内容を深く理解すると共に語彙を増やす。本文の overlapping, shadowing を行い、英語らしい発音・イントネーションを習得する。毎回グループ内でエッセイの要約を発表したり、他の話題を話す練習を行い、話す力をつける。このような演習を繰り返しながら最終スピーチに備える。 <b>到達目標:</b> 関心のある問題・話題について調べ、更に自分の意見等を英語で書き、それを原稿を見ないで発表できるようになる。また、その過程において、英語の読解力・語彙力、発音・イントネーション、リスニング力が上達する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b>  第 1 回 Orientation 中間テスト・期末テストのテーマについて / Ch.1(listening) 第 2 回 Ch.1: September 11 / Ch.2 (listening) / story-telling について 第 3 回 Ch.1(story-telling) / Ch.2: Beyond “September 11” / Ch.3 (listening) / 要約の書き方 第 4 回 Ch.2(story-telling) / Ch.3 : The Stone Walk / Ch.4 (listening) 第 5 回 Ch.3(story-telling) / Ch. 4 : Students’ Power in the Stone Walk / Ch. 6 (listening) 第 6 回 Ch.4(story-telling) / Ch. 6: Japan and My Family / アウトライン・スピーチ原稿の書き方、スピーチの仕方 第 7 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(1) Short speech 1: Ch. 1&2 又は 3&4 /英語でのスピーチ講評(グループ) / Ch.7 (listening) 第 8 回 Ch.6(story-telling) / Ch. 7 : The Japan that I love / Ch.10 (listening) 第 9 回 Ch.7(story-telling) / Ch.10:The Art of Memory / Ch.11 (listening) 第 10 回 Ch.10(story-telling) / Ch. 1 1 :Statues for Peace / Ch.11(story-telling) 第 11 回 <スピーチ原稿提出> 中間テスト(2) short speech 2: Ch. 6&7 又は 10&11 /英語でのスピーチ講評(グループ) / 最終スピーチテーマについて 第 12 回 <最終スピーチ・アウトライン提出> Preparation for the final speech 第 13 回 <最終スピーチ原稿提出> Preparation for the final speech 第 14 回 一班:スピーチ発表、二班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 15 回 二班:スピーチ発表、一班、三班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出) 第 16 回 三班:スピーチ発表、一班、二班:スピーチ観賞と評価(評価レポート提出)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	「Working for Peace is Fun」(Andrea LeBlank, 外著) / 新聞記事、インターネット記事など		
成績評価の方法・基準等	期末テスト:スピーチ(30%) / 中間テスト:ショート・スピーチ2回(20%) / 他人のスピーチ評価レポート(10%) / 課題提出(20%)提出課題は期限厳守のこと / その他の宿題・story-telling などの授業中の活動(20%)		
受講要件(履修条件)	原則として全回出席をしなければ単位は成立しない。正当な理由があっても、欠席が4回になると期末テストを受ける資格を失う。30分以上の遅刻・早退は原則として欠席扱いとする。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	積極的に話を聞く・話す態度が身に付く		
備考(準備学習等)	毎回宿題を出すので、それを行った上で授業に臨むこと。		

2010年度 後期	曜日・校時 水1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003028 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ld) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) Ld	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 西原 俊明 / t-nishi@nagasaki-u.ac.jp / / 095-819-2095 / 火曜日 12:50~13:30 他は、only by appointment			
担当教員	西原 俊明		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 基礎的な英語運用能力を高めることを授業のねらいとする。特に、音声言語によるコミュニケーション能力向上を目指す。また、既習の語彙を用いた表現力の幅をひろげるため、Plain Englishに関する講義を併せて行い、表現力向上を目指す。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 授業の前半では、日本人学習者が抱えるリスニング上の問題点を理解する訓練、速読の訓練、表現力を養う Plain English による表現練習を行う。授業の後半では、前半で行う訓練を発展させた authentic な教材・題材を用いた訓練を行う。速読の訓練では、U.S.A Today, CNN, BBC などの記事を用いて速読のスキルの訓練をする。英語音声学・応用言語学・言語学等の知見を取り入れ、ペアワークやインフォメーションギャップを用いたコミュニケーション活動を中心に行う。 <b>到達目標:</b> 授業を通して、種々の速読のスキル、リスニングストラテジー、英語によるコミュニケーション活動に慣れ、基礎的なコミュニケーション能力を身につけることを目標とする。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 10月6日 オリエンテーション 授業の進め方、及び授業で取り上げるスキルの概要説明 第2回 10月13日 英語のリズム(1)、速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第3回 10月20日 Voice Aerobics, 速読(phrase reading)とペアワーク(1) 第4回 10月27日 リズムユニットの理解とシャドーイング(1)、速読(phrase reading) 第5回 11月10日 リズムユニットの理解とシャドーイング(2)、速読(phrase reading) 第6回 11月17日 弱く発音される音、速読(phrase reading) 第7回 11月24日 インフォメーションギャップによるペアワーク(1)、映画による聞き取り(1) 第8回 12月1日 聞こえなくなる音、映画による聞き取り(2) 第9回 12月8日 インフォメーションギャップによるペアワーク(2)、映画による聞き取り(3) 第10回 12月15日 グループによるディスカッション(1)、映画による聞き取り(4) 第11回 12月22日 ひとつになる音、インフォメーションギャップによるペアワーク(3)、速読(phrase reading) 第12回 1月12日 つながる音、映画による聞き取り(5)、速読(phrase reading) 第13回 1月19日 なくなる音、速読(phrase reading)、映画による聞き取り(6) 第14回 1月26日 英語の音のその他の特徴(prosodic features を中心として)、グループによるディスカッション(2) 第15回 2月2日 Review			
キーワード	速読、Plain English、リズムユニット、音変化		
教科書・教材・参考書	プリント教材、及び聞き取り訓練テキスト		
成績評価の方法・基準等	まとめテスト(30%)、小テスト(60%)、積極的な授業への参加(10%)等を総合的に判断する。小テストは毎回行う。		
受講要件(履修条件)	新たに学習する内容は、きちんと復習すること！		
本科目の位置づけ/学習・教育目標	高校までの英語学習の弱点を補うとともに、大学レベルの英語学習に必要なスキルの獲得を目指す。英語コミュニケーションの基礎的能力を身につけると同時に、日本人学習者の弱点を克服する。		
備考(準備学習等)	Plain English のプリント教材を復習し、小テストに備えること。		

2010年度 後期	曜日・校時 水3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003029	●英語コミュニケーションⅡ (Ka) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) Ka	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー マーク ティーダマン / / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	マーク ティーダマン		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The class will focus on improving students' basic English skills in listening, speaking and reading through listening experiences and production exercises in class and exercises and readings in English to be done as homework. <b>授業方法(学習指導法):</b> In class, we will focus on listening and speaking skills by going through the Touchstone 2 course book using video and extensive pair-work exercises. Work on English grammar and structure with a text preparing students for the Reading Section of the TOEIC Test will be assigned as home work. Homework assignments will be regularly checked and four quizzes over the material will be given. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students will be expected to have a firmer command of basic grammatical structures, be more adept at understanding TOEIC Test-type reading materials, and be more comfortable listening to, responding to, and producing everyday spoken English.			
<b>授業内容(概要) /授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> Essential Reading for the TOEIC Test, Kinseido Touchstone 2, Cambridge University Press 第1回 Introduction to the class, Mixing activity 第2回 TOEIC Unit 1; Touchstone Unit 1 第3回 TOEIC Unit 2; Touchstone Unit 1 第4回 TOEIC Unit 3,4; Touchstone Unit 1 第5回 TOEIC Unit 5, Quiz TOEIC Units 1-5; Touchstone Unit 2 第6回 TOEIC Unit 6; Touchstone Unit 2 第7回 TOEIC Unit 7,8; Touchstone Unit 3 第8回 TOEIC Unit 9,10; Touchstone Unit 3 第9回 TOEIC Unit 11, Quiz TOEIC Units 6-10; Touchstone Unit 4 第10回 TOEIC Unit 12,13; Touchstone Unit 4 第11回 TOEIC Unit 14,15; Touchstone Unit 5 第12回 TOEIC Unit 16, Quiz TOEIC Units 11-15; Touchstone Unit 5 第13回 TOEIC Unit 17,18; Touchstone Unit 6 第14回 TOEIC Unit 19,20; Touchstone Unit 6 第15回 TOEIC Quiz Units 16-20; Review of Touchstone for the test 第16回 Final Test			
キーワード			
教科書・教材・参考書			
成績評価の方法・基準等	Homework 10%, TOEIC quizzes 30%, Final Test 60%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003030	●英語コミュニケーションⅡ (Tb) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 125	
対象学生(クラス等) Tb	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィシアワー 吉村 宗司 / yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後 (16:00~16:10/125 教室)			
担当教員	吉村 宗司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語) - 必要最低限の英語(米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。 <b>授業方法(学習指導法):</b> まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL 機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 <b>到達目標:</b> 本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。 第1回 10月6日 オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか) 第2回 10月13日 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 - 分析結果の報告と対策法について 第3回 10月20日 プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /r/と/l/の発音 第4回 10月27日 子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 第5回 11月10日 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック 第6回 11月17日 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 第7回 11月24日 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 第8回 12月1日 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン 第9回 12月8日 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①) 第10回 12月15日 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』 第11回 12月22日 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1) 第12回 1月12日 On an Airplane(2)/VTR 視聴/ニュースを聞き取る 第13回 1月19日 At an Airport(1)/洋楽を聞き取る 第14回 1月26日 At an Airport(2)/Taking a Taxi(1)/洋楽を聞き取る 第15回 2月2日 Taking a Taxi(2)/洋楽を聞き取る/まとめ 第16回目 2月9日 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。			
キーワード	音法		
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況 20%)等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 水5	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003031	●英語コミュニケーションⅡ (Th) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 125	
対象学生(クラス等) Th	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 吉村 宗司 / yoshimura@nagasaki-joshi.ac.jp / 非常勤講師控室 / / 授業の前後 (16:00~16:10/125 教室)			
担当教員	吉村 宗司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 授業のねらい: 対話や会話といった、コミュニケーションを主要目的とする言葉のやりとりについては、なによりも相手を理解するための聴解力を基盤に持つことが必要である。発話力というのも聴解力あつての発話力であつて、聴解力さえ身につけば、発話力はそれに応じて自然にその進歩が期待できるものである。本講座では、これまで聞くことにあまり時間を割いてこなかった学校教育の弊害を可能な限り克服する意味で、サバイバル英語(米語) - 必要最低限の英語(米語) - を徹底的に学びながら、聴解力と発話力の増強を図ることを第一義的な目的に据えるものである。 <b>授業方法(学習指導法):</b> まずは、聴解力の増強に極めて効果的な英音・米音の音声的特徴や法則性(音法)について解説し、聴解力と発話力のバランスをとりながら、LL 機器をフルに駆使して英語(米語)の運用能力を習得するトレーニングを行なっていく。尚、マテリアルとしては、日常会話表現や旅行英会話、洋楽、時事(ニュース)等、実用性の高いものを取り上げていく予定である。 <b>到達目標:</b> 本講座の受講によって、これまで英米語のリスニングに際し、疑問であったことが解消されるはずである。また、受講者のトレーニング次第では、外国人との英会話をはじめ、洋楽、映画、英語ニュースの視聴時に、上達の喜びを体感できるものと思われる。『英語が止まって聞こえる』ようになることを究極の目標に掲げる。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 前半は、聴解力を増強させるうえで必須となる音声に関する知識の基礎固めを行なう。具体的には、基礎知識、及びリスニングに極めて有効な英音・米音の音声的特徴と法則性(音法)の習得である。中盤から後半は、リスニングとスピーキングのバランスをとりながら、発音矯正と並行して発話力の増強を目指す。限られた時間で実用英米語運用能力を促進させるトレーニングを行なっていくとともに、必要に応じて比較文化的視座から文化に関する実利的なトピックも織り交ぜつつ、言語と文化を包括して共時的に学ぶことを視野に入れた解説も展開する。 第1回 10月6日 オリエンテーション(授業方針についての説明、教材の配付、アンケートほか) 第2回 10月13日 『なぜ日本人は英語の聞き取りが苦手なのか?』 - 分析結果の報告と対策法について 第3回 10月20日 プレテスト、つながる音とカタカナ英語、近似カナ表記、母音、半母音/j/, /w/, /r/, /r/と/l/の発音 第4回 10月27日 子音、調音形式、調音点、有声音と無声音、閉鎖音についての解説 第5回 11月10日 子音の分類表を基にした音素に関する基礎知識の確認、単語レベルの発音クリニック 第6回 11月17日 『音の連結』を聞き取るパターン(リエゾンの原則)、/t/, /d/, /g/の脱落、/t/, /d/のラ行音化 第7回 11月24日 連結しない場合の/l/, /h/の脱落、半母音/j/, /n+/t/と/n+/d/による音変化 第8回 12月1日 『閉鎖音の連続による脱落』、『同じ子音の連続による脱落』を聞き取るパターン 第9回 12月8日 『同化』を聞き取るパターン(1)(半母音/j/に絡む音変化①) 第10回 12月15日 『同化』を聞き取るパターン(2)(半母音/j/に絡む音変化②)、『調音点が近い子音の連続』 第11回 12月22日 『同化』を聞き取るパターン(3)(/n/の後続音への影響)、On an Airplane(1) 第12回 1月12日 On an Airplane(2)/VTR 視聴/ニュースを聞き取る 第13回 1月19日 At an Airport(1)/洋楽を聞き取る 第14回 1月26日 At an Airport(2)/Taking a Taxi(1)/洋楽を聞き取る 第15回 2月2日 Taking a Taxi(2)/洋楽を聞き取る/まとめ 16回目 2月9日 定期試験 ※毎回、詳細に解説を施す予定であるため、上記の進度設定を変更する場合もある。尚、基本的な音法を習得した後に旅行英会話等への応用を試みるが、解説やトレーニングに加え、比較文化的視座から実利的なトピックも交えつつ講義を進めていく。			
キーワード	音法		
教科書・教材・参考書	(1) 英語リスニング - 聞き取るための入門講座(ハンドアウト教材) (2) American(ハンドアウト教材) (3) アメリカの生活と文化(VTR教材)		
成績評価の方法・基準等	定期試験(80%)、授業への積極的参加意欲(受講態度やトレーニングの状況 20%)等の総合判定によって評価を行なう。		
受講要件(履修条件)	配布された教材に対する予習復習は必須である。特に、毎時学んだ内容に関し、毎日のトレーニングを継続させることによって、実用英米語運用能力の促進が可能となる。したがって、復習に力点を置いた学習姿勢が望まれる。		
本科目の位置づけ			
備考(準備学習等)			



2010年度 後期	曜日・校時 木1	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003032	●英語コミュニケーションⅡ (M11) English Communication II		
授業科目/(英語名)			
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 204	
対象学生(クラス等) M11	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 松村 ラッタナー / mratana46@yahoo.com / 非常勤講師室 / 095-882-6656 / By appointment.			
担当教員	松村 ラッタナー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course aims to develop students' communication skills through engaging students to critically think and share their own opinions on key everyday issues. Students will learn to use different communication strategies and the English they know to carry on group discussions. They will learn to do short presentations. <b>授業方法(学習指導法):</b> This is an interactive speaking class. Conversational techniques and language functions are introduced and practiced in pairs and small groups. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students would be able to more effectively use basic communication strategies and functional expressions covered in class to express themselves and engage in an opinion sharing conversation. They would be able to give a short presentation.			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The course content includes basic communication strategies, basic presentation skills, and language functions relating to expressing opinions, agreeing and disagreeing with opinions. Listening and reading are incorporated to stimulate ideas and discussions. Topics of interest will be selected and used to review materials taught.			
第1回 10月 7日 Introduction / Basic communication strategies 第2回 10月14日 Expressing opinions / Agreeing and disagreeing 第3回 10月21日 Health and smoking 第4回 10月28日 Discussion on the topic 第5回 11月 4日 Introduction to presentation / Soliciting details 第6回 11月11日 Generation gaps 第7回 11月18日 Discussion on the topic 第8回 11月25日 Discussion connectors 第9回 12月 2日 Marriage and cohabitation 第10回 12月 9日 Discussion on the topic 第11回 12月16日 Shopping and environment 第12回 1月 6日 Discussion on the topic 第13回 1月13日 Student presentation 第14回 1月20日 Topic 5 and discussion on the topic 第15回 1月27日 Discussion assessment 第16回 2月10日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Materials will be distributed in class.		
成績評価の方法・基準等	Participation 10% Self-study practice 20% Student presentation 20% Discussion assessment 30% Final exam 20%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003033 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (M13) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 303	
対象学生(クラス等) M13	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 村岡 三奈子 / muraoka@n-junshin.ac.jp / 非常勤講師室 / 095-846-0084 / 長崎純心大学村岡研究室にて随時			
担当教員	村岡 三奈子		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 現代社会が抱える様ざまな問題をトピックに、(1) 多角的な視点から論理的に思考し、(2) 自分の意見を表現する技能を段階的に養い、(3) 最終的に英語でディベートできるようになることを目標とする。  <b>授業方法(学習指導法):</b> 原則として、毎週、テキストを1章ずつ学習する。基本的 vocabulary の習得、reading およびその summary、さらに categorizing の順番で進める。予習を前提とし、毎回、授業のはじめに確認の小テストを行う。  <b>到達目標:</b> ある問題の肯定論・否定論を客観的に分析しながら、英語で意見を組み立て、伝達できるようになる。授業の最終回に「ミニ・ディベート大会」でその成果を発表する。			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第1回 4月15日 イントロダクション: Definition and significance of debate 第2回 4月22日 Chapter 1 Format and procedures 第3回 5月6日 Chapter 2 Suggestions for classroom debate 第4回 5月13日 Chapter 3 Should college English education introduce debate in the curriculum? 第5回 5月20日 Chapter 4 Should the school dress code be left up to individual students? 第6回 5月27日 Chapter 5 Should Japan increase female leaders? 第7回 6月3日 Chapter 6 Should Japan adopt daylight saving time? 第8回 6月10日 Chapter 7 Should the civil code be revised to allow different surnames? 第9回 6月17日 Chapter 8 Should Japan seek permanent status on the U.N. Security Council? 第10回 6月24日 Chapter 9 Should the Japan-U.S. Security Treaty be abolished? 第11回 7月1日 Chapter 10 Should primary schools introduce English into their curriculum? 第12回 7月8日 プレゼンテーション準備 (1) Draft # 1 第13回 7月15日 プレゼンテーション準備 (2) Draft # 2 第14回 7月22日 プレゼンテーション 第15回 7月29日 授業の総括 第16回 8月5日 定期試験			
キーワード			
教科書・教材・参考書	教科書: Enjoy Debating (EICHOSHA)		
成績評価の方法・基準等	授業への積極的参加状況: 10% 小テスト: 20% プレゼンテーション: 30% 筆記試験: 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 木4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003034 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Kc) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 203	
対象学生(クラス等) Kc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 大里 泰弘 / ms6osatmy@hotmail.co.jp / 非常勤講師室 / / 授業時に要確認			
担当教員	大里 泰弘		
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</p> <p>ねらい: ・基礎英語力の確認 ・TOEIC受験準備 ・実用的コミュニケーションスキルの育成</p> <p>授業方法(学習指導法):英語音声の聞き取り力・表出力増強を目的とした説明・練習をおこないながら、コミュニケーションタスクを導入する</p> <p>到達目標: TOEIC頻出のテーマごとに基礎語彙を学習し、リスニングやリーディング練習を行いTOEIC受験の基礎を定着させる。同時に、基本的な自己表現ができるようなコミュニケーション能力の育成を目標とする。</p> <p>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</p> <p>TOEIC リスニング・セクション, リーディング・セクションの基礎固め+コミュニケーション力育成タスク</p> <p>第1回 10/7 Introduction L1 Occupation 第2回 10/14 L2 Job Hunting 第3回 10/21 L3 Communication 第4回 10/28 L4 Company Organizations 第5回 11/4 L5 Working Condition 第6回 11/11 L6 Office Facilities 第7回 11/25 L7 Various Forms 第8回 12/2 L8 Department Names 第9回 12/9 L9 Technology 第10回 12/16 L10 Around the Office 第11回 1/6 L11 Emotions 第12回 1/13 L12 Transportation 第13回 1/20 L13 Hotel 第14回 1/27 L14 Restaurants 第15回 2/3 L15 Airport 第16回 2/10 定期試験</p>			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Open Career Doors Pearson Longman		
成績評価の方法・基準等	授業時の QUIZ・課題提出, 定期試験を総合的に評価する。		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金2	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003035 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (D16・17) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL2	
対象学生(クラス等) D16-17	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー RUHL DAWN MICHELE / michele@nagasaki-u.ac.jp / 大学教育機能開発センター 2F / +81(0)95-819-2082 / 月 - 金 12:00-12:45; 月・木 14:30-17:00			
担当教員	RUHL DAWN MICHELE		
授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標			
<p><b>ねらい:</b>この授業では、英語の流暢さを向上させることを目的としています。Free Writing、Free Reading やアクティブ・リスニング、広範囲のリーディングをとり入れて何週間も続けていきます。生徒は、マインドマップの作り方と5W1Hや例を含めた Personal Stories の作り方を学びます。広範囲のリーディングを通して、生徒は多方面にわたるテーマに詳しくなり、また Personal Stories や引用文の中でこれらのテーマがわかるようになります。理論的な文章を書くことは、トピックや Personal Stories や広範囲のリーディング、また Free Writing、Free Speaking など主な学習範囲で使用した例と関連づけて実践していきます。</p> <p><b>授業方法(学習指導法):</b>毎週行う Free Writing やリーディング、クラスログ、マップ、クラスでの活動は用意された授業用ノートに保存をしていきます。アクティブ・リスニングを用いて、トピックや Stories を個別またはパートナーと録音します。2つのアクティブ・リスニングの文章を書き、それが採点されます。複数あるスピーキングの例からスピーキング・ポートフォリオをつくります。また、これは生徒同士で採点します。録音したものはすべてUSBに保存してください。学術的な文章を書く課題(2回)は、宿題となります。生徒の質問に答えたり、教員から例を挙げてもらったりする時間は十分にあります。授業は真面目に取り組み、毎週宿題をかかさずに行ってください。</p> <p><b>到達目標:</b>事前に書いた文章を読むのではなく、経験や詳細、例を挙げながら自分のことを話せるようになること。 アクティブ・リスニング(相槌)の重要性を実感し、書かれた文章をアクティブ・リスニングで表現できる。 理論的で複雑な文章を2つ書き上げる。 英語を流暢に読み・書き・話す能力と速読力を向上させること。</p>			
授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)			
第1回 Purchase books; Class Outline, timetable and weekly Basic Homework (B.H.W.) 第2回 Interview Topics and Mind Mapping; Reading Benchmark. 第3回 Active Listening intro - Homepage; Topic Interviews (Answer 8 questions). 第4回 Record topics solo using maps & with a partner Active Listening(AL)&TPO 第5回 1st Speaking Fluency Check 第6回 Introduce Einstein Quotes and Paragraph writing;choose a quote. 第7回 Einstein Quote Solo; Introduce Homepage Stories & Speaking Portfolio options. 第8回 Midterm Check- Basic Homework&Narrative Essay 1. 第9回 Portfolio Choices and Practice Schedule must be finished in class today. 第10回 Midterm Speaking Fluency Check. 第11回 X-Factors with personal stories. 第12回 X-Factors with Speaking & AL 第13回 Record and check Personal Story Script with X-Factors. 第14回 Final Speaking Fluency Check. 第15回 Random Partner Portfolio Evaluations & Portfolio Self Evaluations. 第16回 Final Class Check- Basic Homework & Narrative Essay 2.			
キーワード	extensive Flow mind map narrative portfolio timed		
教科書・教材・参考書	5 Books for Extensive Reading@¥3800 *マイク付ヘッドフォン、4GBのUSBフラッシュメモリー@¥2800 *カラーペン x5 と蛍光ペン x2 Chairside Communication Textbook		
成績評価の方法・基準等	Basic Homework 25% Speaking Portfolio 25% Active Listening 25% Paragraph Writing 25%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003037 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Ta) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 227	
対象学生(クラス等) Ta	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation.  <b>授業方法(学習指導法):</b> During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class.  <b>到達目標:</b> Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.  第1回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第2回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第3回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第4回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第5回 5: My City - Directions Part 1 第6回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第7回 7: Music - Adventures - Time 第8回 8: Mid Semester Review Activities 第9回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第10回 10: Free time - Sports - Going out 第11回 11: Eating out - Restaurants 第12回 12: Shopping - Fashion 第13回 13: Personality - Describing People - Dating 第14回 14: Holidays - Dates - Festivals 第15回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 16: Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 後期	曜日・校時 金3	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003036 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Tj) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 402	
対象学生(クラス等) Tj	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ベー シュウキョー / / 非常勤講師室 / 095-819-2078(全学教育事務室) /			
担当教員	ベー シュウキョー		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> This course is designed to refresh students' memories of the grammar that they have already learned. Each class provides students with the the opportunity to learn words, phrases and dialogues that are related to the topic. <b>授業方法(学習指導法):</b> Each class deals with an everyday topic. The activities are designed to help students telling their own ideas and experiences. Students will have the opportunity to interact and communicate with each other by completing tasks given in the class. <b>到達目標:</b> By the end of the course, students should be able to use English for expressing their own ideas and feelings.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 第16回 2月4日 Final Exam 第1回 第1回 10月1日 Getting to Know Each Other 第2回 第2回 This Is Me(1) 第3回 第3回 This Is Me(2) 第4回 第4回 Money(1) 第5回 第5回 Money(2) 第6回 第6回 Leisure Activities(1) 第7回 第7回 Leisure Activities(2) 第8回 第8回 Going Places(1) 第9回 第9回 Going Places(2) 第10回 第10回 Health(1) 第11回 第11回 Health(2) 第12回 第12回 Work(1) 第13回 第13回 Work(2) 第14回 第14回 Environment(1) 第15回 第15回 Environment(2)			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Printed materials will be distributed in the class.		
成績評価の方法・基準等	Participation 30% Homework 30% Final exam 40%		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ /学習・教育目標			
備考(準備学習等)			

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003039 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (Tc) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] 227	
対象学生(クラス等) Tc	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー ダニー ルヴィエラ / dannyjl@excite.com / 非常勤講師控室 / / 授業の前後			
担当教員	ダニー ルヴィエラ		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> The goal of this course is to give students extensive practice in everyday conversational English with emphasis on informal styles and pronunciation. <b>授業方法(学習指導法):</b> During class students will spend as much time as possible speaking in English. Students will work in pairs and in groups using English in a variety of situations. Active participation is central to the success of the class. <b>到達目標:</b> Ideally, after completion of the course students will be better prepared to converse in the international community at a basic level.			
<b>授業内容(概要) / 授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> The text will be used in every class providing work in listening, speaking, reading and writing.			
第 1 回 1: Introductions - Interviews - Class Outline - Homework Explanation 第 2 回 2: Introduce Partner - Welcome Game 第 3 回 3: Countries - Casual language - Meeting People 第 4 回 4: Likes - Jobs - Hometowns - More Casual language - Reductions. 第 5 回 5: My City - Directions Part 1 第 6 回 6: My Neighborhood - Directions Part 2 - Weather 第 7 回 7: Music - Adventures - Time 第 8 回 8: Mid Semester Review Activities 第 9 回 9: Movies - Famous People - Entertainment 第 10 回 10: Free time - Sports - Going out 第 11 回 11: Eating out - Restaurants 第 12 回 12: Shopping - Fashion 第 13 回 13: Personality - Describing People - Dating 第 14 回 14: Holidays - Dates - Festivals 第 15 回 15: Travel - Vacations - The Future - Exam Information 第 16 回 16: Final Exam			
キーワード			
教科書・教材・参考書	Adventures in English 1, Adventures in English 1 Workbook		
成績評価の方法・基準等	Grading will be based on attendance/participation (working with a partner, bringing your book to class) (30%), workbook (30%) and a final test (40%).		
受講要件(履修条件)			
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)	Workbook to be done at home - not in class.		

2010年度 後期	曜日・校時 金4	必修選択 必	単位数 1
授業コード 20100590003038 授業科目/(英語名)	●英語コミュニケーションⅡ (M14) English Communication II		
対象年次 1年	講義形態 演習科目	教室 [全] CALL1	
対象学生(クラス等) M14	科目分類 外国語科目		
担当教員(科目責任者) / Eメールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 小笠原 真司 / ogasa-s@nagasaki-u.ac.jp / 環境科学部 1階 / 095-819-2094 / 木3 金3 金5			
担当教員	小笠原 真司		
<b>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標</b> <b>ねらい:</b> 英語でのコミュニケーション活動がスムーズにできるように、基礎的な英語の発音やリズム練習を行います。さらに、リスニングストラテジーに基づいたトレーニングを行い、リスニングの力をつけるとともに、リピーティングを用いた構文練習を行い、自信を持って英語を発信できるようにします。 <b>授業方法(学習指導法):</b> 演習形式で行います。指定されたテキストは、決められた範囲を予習しておくことが必要です。家庭でテキスト付属のCDを利用して、十分練習していただくことを要求します。また、2回程度、プレゼンテーション用の英文の原稿を書いてもらい、ペアやグループでの英語によるスピーチ練習をします。 <b>到達目標:</b> テキストの中の重要な英語の構文は、授業中指定されたものはすべて覚えて頭の中に内在化、自然と発話できるレベルまでにします。英会話レベルを超えて、少し長いレベルの英語も発話できるようにします。また、基本的なリスニングストラテジーを身につけてもらい、簡単な英語ニュースや映画なら、内容の概要を聞き取れるようにします。また、簡単なプレゼンテーションを、自信をもって英語でスピーチできるようにします。			
<b>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む)</b> 毎回、授業の最初には、テキストを用いて、話すための大切な英語構文を整理しながらCDを聞いて用いて、英語を繰り返す練習を行います。これは、リピーティング練習といい、英語の構文を内在化する(身につける)には効果的な練習方法です。この練習を20分程度行い、その後、リスニングストラテジーに基づき、リスニング用のプリント教材や英語の歌を用いて、リスニングのトレーニングを行います。さらに、応用練習として、ペアやグループになってもらい、課題として作成したプレゼンテーション用の原稿を用いてのスピーチ練習を行います。もちろん、この原稿を書くための指導も行います。 この授業に関しては、決して受身的な態度で授業に参加しないでください。授業の効果を上げるためにも、学生は極力欠席を避け、積極的に授業に参加してください。毎回、課題がでますので、なによりも家庭学習をきちんとすることが大切です。学生の積極的な取り組みを期待します。真剣に授業に参加し、家庭学習もきちんとすれば、必ず英語の力は向上します。がんばってください。			
第1回 オリエンテーション リピーティング練習の体験 リスニングテスト 映画教材1 第2回 テキスト 機能編:質問する、依頼する、確認する等 基礎リスニングトレーニング1 映画教材2 第3回 テキスト 機能編:あやまる、感謝を表す、賛成する等 基礎リスニングトレーニング2 映画教材3 第4回 テキスト 場面編:基本情報を語る 基礎リスニングトレーニング3 映画教材4 第5回 テキスト 場面編:趣味・クラブ・バイトを語る 映画教材5 第6回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材6 第7回 テキスト 場面編:勉強・夢を語る スピーチ練習課題A 映画教材7 第8回 テキスト 場面編:友人のことを聞く スピーチ練習課題A 映画教材8 第9回 テキスト 場面編:授業情報を聞く 映画教材9 第10回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材10 リスニング(ポストテスト) 第11回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 映画教材11 第12回 テキスト 構文編:基本的な疑問文のパターン練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材12 第13回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材13 第14回 テキスト 構文編:助動詞を用いた表現練習 ESP関係の語彙修得練習 スピーチ練習課題B 映画教材14 第15回 ESP関係の語彙修得練習 第16回 定期試験(2011年2月4日)			
キーワード	Repeating, Pair Work, Listening Strategies		
教科書・教材・参考書	教科書(テキスト):英語リスニングテスト(JACET 中級) 1,000円(第1回目の授業時に徴収します) English Communication for Self-Expression -Life,Culture and Medicine-(EIKO-SHA) (CD付) 1,800円(第1回目の授業時に教室にて販売します) 教材:プリント教材 毎回配布します。		
成績評価の方法・基準等	成績評価は、○定期試験50%、毎回の小テスト10%、授業中の発表10%、プレゼンペーパー10% リスニングテスト(ポストテスト)20%で行います。		
受講要件(履修条件)	全回出席が原則。教科書も必ず購入すること。		
本科目の位置づけ/学習・教育目標			
備考(準備学習等)			



